

知っとくと **得** 情報 = 税の豆知識 =

税理士

山岡 修治

〒101-0047
千代田区内神田1-2-2
小川ビル7階
神田合同税理士事務所
TEL 03(3518)2711(代)
FAX 03(3518)2712
携帯 090(2212)0306
e-mail higumasy@d6.dion.ne.jp



明けましておめでとうございます。本年も「税の豆知識」をよろしく願いいたします。

さて、新年号であります今回は、最近、TVの報道番組や新聞・ネットニュース記事でよく見聞きするようになった「SDGs (エスディージーズ)」という言葉について説明いたします。「環境問題に代表されるような、様々な社会問題に取り組むこと」というのは何となくわかるけど、「どんな意味なのか?」「なんで今、取り組む必要があるのか?」と疑問に感じている方もいるのではないのでしょうか。

最近、特に環境問題・社会問題への取り組みとして、この言葉を聞く機会が増えたように感じます。

SDGsは、子供の権利と強く関連しており、この目標を達成することは、子供に関連するさまざまな課題を解決することにもつながります。

1. SDGs (エスディージーズ) とは

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」をスローガンにして、持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標のことです。2015年9月に、「国連持続可能な開発に関するサミット」が、ニューヨークで開催されました。ここで、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ (2030アジェンダ)」が世界各国の政府によって採択されました。この「2030アジェンダ」のなかに、SDGsの17の目標が示されています。これらの17の目標を、2030年までの15年間で達成することを目指して、世界は2016年から取り組みを始めています。

広まったキッカケは、2017年に開催された「ダボス会議」(政治経済のリーダーが集まる会議)の中で、「SDGsに取り組むことで12兆円を超える経済価値と、3億8000万人に雇用が創出される」と発表されたことにより、経済界も「取り組んでいこう」と広がり始めました。

2. 日本政府によるSDGsの取り組み

1. 実施体制の構築

日本政府は内閣総理大臣を本部長、官房長官及び外務大臣を副本部長、全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を2016年5月に設置し、また、中長期戦略である「SDGs実施指針」を策定。2019年12月に初めて同方針の改定を行っています。

2. ジャパンSDGsアワード

日本政府は「ジャパンSDGsアワード」を2017年に発足。SDGs達成に資する優れた取り組みを行っている企業・団体などを表彰してきています。

これはSDGs推進にあたり、取り組みを「見える化」し、より多くの行動を促進する観点から行われています。

3. SDGs未来都市

2018年から「SDGs未来都市」を選定しています。これは優れたSDGsの取り組みを提案する都市・地域を選定するものです。その中で特に先導的な取り組みを行っている企業・団体を「自治体SDGsモデル事業」として選定し、資金面での支援を行っています。

4. SDGsサミット

ニューヨークの国連本部において、首脳レベルでSDGs達成に向けた機運を高めることを目的とした「SDGsサミット」が開催されました。

5. SDGsと人間の安全保障

人間の安全保障とは、「人間一人一人を保護するとともに、自ら課題を解決できるよう能力強化を図り、個人が持つ豊かな可能性を実現できる社会づくりを進める」という考え方で、日本政府は支援を実施し、1999年に「国連人間の安全保障基金」の設立を主導しています。同基金を通じ99の国・地域で257件のプロジェクトを実施。これまでに日本は累計4.3億ドルを拠出しています。

3. SDGs17の目標

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロ
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう

6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

4. SDGsに企業が取り組む理由

企業がSDGsに取り組む理由に、企業イメージの向上があります。SDGsに取り組んでいるとなれば、消費者からは「信用できる会社」との印象を持たれます。また、従業員にとっても多様性を認めてくれる会社であると感じられ、企業で働くモチベーションアップに繋がります。

SDGsに取り組むことで、企業は経営上のリスクを避けながらも、新規事業の創出が期待できると考えています。投資家・株主においても、投資の条件としてSDGsへの取り組みを見る時代となっています。

5. SDGsとセーブ・ザ・チルドレン

セーブ・ザ・チルドレンは、生きる、育つ、守られる、参加するという「子どもの権利」が実現された世界を目指し活動する国際NGOですが、実は、SDGsと子どもの権利には重なるところがたくさんあります。例えば、SDGsの目標3は、子どもの権利第24条の「いつでも健康でいるために保険・医療サービスを受ける権利」と、またSDGsの目標4は、子どもの権利第28条、第29条の「教育を受ける権利」や「教育を通し、自分の心や体が持つ力を伸ばしていく権利」と重なります。

また、子どもの権利第6条の「生きる権利・育つ権利」は、SDGsの目標1や2と大きく関連します。その他にも子供たちが差別されてはならないこと、暴力を受けてはならないことなどがSDGsと子どもの権利条約それぞれのなかで示されています。

つまり、子どもの権利の推進のために活動を行うことは、SDGsの目標達成のための活動であり、SDGsの目標達成のための活動は、子どもの権利を推進するための活動でもあります。



「若草山焼き」

毎年1月の第4土曜日に行われる若草山の山焼きは、奈良の冬の代表的な行事です。打ち上げ花火とラッパ

の音を合図に若草山の草地に火が点けられ、炎に包まれた若草山の姿が闇に浮かび上がります。

赤々とした炎が古都の夜空を染め上げる眺めは壮観です。若草山焼きの起源は明確ではありませんが、東大寺と興福寺及び春日大社の領地争いを焼き払って解決したのが起源とも、鶯塚古墳の霊魂を鎮めるためとも、山を焼かなければ翌年に不祥事が起こるとも、春の芽生えをよくするためとも言われています。

江戸時代末期には放火を防止するため、奈良奉行所と東大寺・興福寺が立ち会って山を焼くようになったそうです。今年は1月28日に開催です。

1月の税務と労務

- ・ 国税／給与所得者の扶養控除等（異動）申告書の提出 本年最初の給与支払日の前日
- ・ 国税／報酬、料金、地代、家賃等の支払調書の提出 1月31日
- ・ 国税／源泉徴収票の交付、提出 1月31日
- ・ 国税／12月分源泉所得税の納付 1月10日
(納期の特例を受けている事業所の7～12月分は1月20日)
- ・ 国税／11月決算法人の確定申告（法人税・消費税等） 1月31日
- ・ 国税／5月決算法人の中間申告 1月31日
- ・ 国税／2月、5月、8月決算法人の消費税等の中間申告（年3回の場合） 1月31日
- ・ 地方税／固定資産税の償却資産に関する申告 1月31日
- ・ 地方税／給与支払報告書の提出 1月31日

2月の税務と労務

- ・ 国税／令和4年分所得税の確定申告受付 2月16日～3月15日
(還付申告は申告期限前でも受け付けられます)
- ・ 国税／贈与税の申告受付 2月1日～3月15日
- ・ 国税／1月分源泉所得税の納付 2月10日
- ・ 国税／12月決算法人の確定申告（法人税・消費税等） 2月28日
- ・ 国税／6月決算法人の中間申告 2月28日
- ・ 国税／3月、6月、9月決算法人の消費税等の中間申告（年3回の場合） 2月28日
- ・ 国税／決算期の定めのない人格なき社団等の法人税の確定申告及び納付 2月28日
- ・ 地方税／固定資産税の第4期分の納付 市町村の条例で定める日